



平成30年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年4月3日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長南 収
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営推進本部長 (氏名) 篠原 真人 TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第1四半期の連結業績（平成29年12月1日～平成30年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第1四半期	137,212	3.9	5,725	2.7	6,017	5.9	3,247	20.5
29年11月期第1四半期	132,079	△0.0	5,577	28.2	5,680	24.0	2,694	12.7

(注) 包括利益 30年11月期第1四半期 3,946百万円 (△46.6%) 29年11月期第1四半期 7,395百万円 (357.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第1四半期	22.09	-
29年11月期第1四半期	18.00	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第1四半期	412,533	264,240	55.0
29年11月期	419,207	263,432	54.0

(参考) 自己資本 30年11月期第1四半期 226,956百万円 29年11月期 226,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期	-	18.00	-	18.50	36.50
30年11月期	-	-	-	-	-
30年11月期(予想)	-	19.00	-	19.00	38.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年11月期の連結業績予想（平成29年12月1日～平成30年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	286,400	3.3	15,600	5.5	15,900	4.3	8,500	5.6	57.81
通期	580,000	3.3	33,000	5.6	34,100	4.9	18,600	2.8	126.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）丘比（中国）有限公司、除外 1社（社名）

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年11月期1Q	150,000,000株	29年11月期	150,000,000株
30年11月期1Q	2,955,823株	29年11月期	2,955,521株
30年11月期1Q	147,044,318株	29年11月期1Q	149,665,818株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因	10
(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費	12
(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キューピー株式会社）	12
(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況	13
(5) 営業外・特別損益の主な増減内容	14
(6) 貸借対照表の概要、増減内容	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

◇ 当社グループ（当社および連結子会社）の状況

平成28年度からの3年間を対象とする中期経営計画では、グループの新たな挑戦で飛躍的成長を実現させるべく、「ユニークさの発揮と創造」を軸にした4つの経営方針（経営基盤の強化、コスト競争力の強化、付加価値の創造、新領域への挑戦）にグループが連携して取り組み、企業価値の一層の向上に努めております。

・売上高

中食市場向けのカット野菜や惣菜が好調に推移したことなどにより、1,372億12百万円と前年同期に比べ51億33百万円（3.9%）の増収となりました。

・利益

労務費などのコスト増加の影響を受けましたが、付加価値品の伸張や不採算商品の見直しなどが進み、営業利益は57億25百万円と前年同期に比べ1億48百万円（2.7%）、経常利益は60億17百万円と前年同期に比べ3億37百万円（5.9%）の増益となりました。

また、前年第1四半期に発生した関西再編に関する特別損失の反動などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億47百万円と前年同期に比べ5億53百万円（20.5%）の増益となりました。

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)	当第1四半期 (自平成29年12月1日 至平成30年2月28日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	34,297	35,966	1,669	4.9%
タマゴ	24,020	24,153	133	0.6%
サラダ・惣菜	27,525	30,023	2,498	9.1%
加工食品	10,980	10,924	△56	△0.5%
ファインケミカル	2,311	2,140	△171	△7.4%
物流システム	30,972	32,560	1,588	5.1%
共通	1,971	1,443	△528	△26.8%
合計	132,079	137,212	5,133	3.9%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)	当第1四半期 (自平成29年12月1日 至平成30年2月28日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	2,588	2,624	36	1.4%
タマゴ	1,026	1,338	312	30.4%
サラダ・惣菜	562	620	58	10.3%
加工食品	△54	106	160	—
ファインケミカル	△13	△37	△24	—
物流システム	1,280	849	△431	△33.7%
共通	187	223	36	19.3%
合計	5,577	5,725	148	2.7%

調味料

- ・野菜価格高騰の影響により国内は伸び悩んだが、海外が伸張し増収
- ・減価償却費などのコストは増加したが、売上増加や付加価値品の伸張により増益

タマゴ

- ・米国の鶏卵相場上昇の影響や付加価値品の伸張などにより増収増益

サラダ・惣菜

- ・野菜価格高騰の影響によるカット野菜の伸張、新たな販路への惣菜や米飯の展開により増収
- ・野菜価格高騰の影響により原材料コストは増加したが、新たな販路への展開やコスト改善が進展し増益

加工食品

- ・不採算商品の見直しにより減収となったが、付加価値品は伸張
- ・付加価値品の伸張や不採算商品の見直しにより増益

ファインケミカル

- ・医薬用E P Aの減少が影響し減収減益となったが、ヒアルロン酸は順調に推移

物流システム

- ・既存顧客の受託エリア拡大や連結子会社の増加により増収
- ・燃料や車両の調達コストの増加により減益となったが、保管・運送の合理化は進展

共通

- ・食品メーカー向け製造機械の販売減少により減収となったが、利益は確保

(2) 財政状態に関する説明

◇総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、4,125億33百万円と前連結会計年度末に比べ66億74百万円減少
主に機械装置及び運搬具の増加、現金及び預金、受取手形及び売掛金、投資有価証券の減少による
- ・負債は、1,482億93百万円と前連結会計年度末に比べ74億82百万円減少
主に支払手形及び買掛金、未払法人税等、その他に含まれる設備未払金の減少による
- ・純資産は、2,642億40百万円と前連結会計年度末に比べ8億8百万円増加
主に利益剰余金の増加による

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、個人消費の変化や主原料価格の変動など、当社グループにとって不透明な環境が続くものと思われまます。

当社グループは、平成28年度からの3年間を対象とする中期経営計画の最終年度にあたり、グループの力を最大限に発揮するとともに、人材育成や環境保全・社会貢献など、経営基盤の強化に向けた取り組みにも注力しております。

そのような中、日本国内においては、食の変化やお客様のニーズをいち早くとらえた商品開発やメニュー提案により、グループ協働で売上を拡大させてまいります。また、生産・販売・物流での効率化や生産技術の革新によるコスト競争力の向上も図り、利益創出力を高めてまいります。

海外につきましては、人口の増加や食の洋風化が進む中国や東南アジアを中心に、エリアのニーズを的確にとらえた提案で主力商品を伸張させるとともに、日本国内で築いた技術を活かした新たなカテゴリーを展開することで、売上拡大を進めてまいります。

なお、本年1月11日に公表しました平成30年11月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,618	27,350
受取手形及び売掛金	78,212	72,227
有価証券	12,000	12,000
商品及び製品	16,355	16,465
仕掛品	972	1,085
原材料及び貯蔵品	11,377	12,344
その他	8,016	8,988
貸倒引当金	△222	△257
流動資産合計	156,332	150,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	185,446	187,040
減価償却累計額	△104,416	△105,711
建物及び構築物（純額）	81,030	81,329
機械装置及び運搬具	170,766	172,935
減価償却累計額	△121,373	△122,532
機械装置及び運搬具（純額）	49,393	50,403
土地	49,820	49,832
建設仮勘定	4,571	3,704
その他	25,437	26,709
減価償却累計額	△15,505	△16,512
その他（純額）	9,931	10,196
有形固定資産合計	194,746	195,467
無形固定資産		
のれん	3,778	3,851
その他	4,580	4,629
無形固定資産合計	8,359	8,481
投資その他の資産		
投資有価証券	34,495	32,513
退職給付に係る資産	12,630	13,121
その他	12,825	12,930
貸倒引当金	△182	△184
投資その他の資産合計	59,769	58,380
固定資産合計	262,875	262,329
資産合計	419,207	412,533

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,008	45,444
短期借入金	8,037	7,925
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	4,005	2,466
引当金	2,854	5,256
その他	27,791	22,770
流動負債合計	90,697	93,864
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	35,947	35,317
退職給付に係る負債	3,147	3,141
資産除去債務	1,120	1,122
その他	14,861	14,847
固定負債合計	65,077	54,429
負債合計	155,775	148,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,425	29,425
利益剰余金	170,583	171,123
自己株式	△6,603	△6,604
株主資本合計	217,509	218,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,429	12,632
繰延ヘッジ損益	△3	△15
為替換算調整勘定	△1,141	△647
退職給付に係る調整累計額	△3,354	△3,061
その他の包括利益累計額合計	8,929	8,907
非支配株主持分	36,992	37,283
純資産合計	263,432	264,240
負債純資産合計	419,207	412,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年2月28日)
売上高	132,079	137,212
売上原価	102,722	106,818
売上総利益	29,357	30,393
販売費及び一般管理費	23,779	24,667
営業利益	5,577	5,725
営業外収益		
受取利息	15	17
受取配当金	195	193
持分法による投資利益	33	42
その他	167	213
営業外収益合計	411	467
営業外費用		
支払利息	79	86
開業費	100	—
その他	128	88
営業外費用合計	308	175
経常利益	5,680	6,017
特別利益		
固定資産売却益	12	37
投資有価証券売却益	26	33
特別利益合計	39	71
特別損失		
固定資産除却損	428	218
減損損失	222	—
その他	38	9
特別損失合計	690	228
税金等調整前四半期純利益	5,030	5,860
法人税等	1,669	1,988
四半期純利益	3,360	3,871
非支配株主に帰属する四半期純利益	666	624
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,694	3,247

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年12月1日 至平成29年2月28日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年12月1日 至平成30年2月28日）
四半期純利益	3,360	3,871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	979	△837
繰延ヘッジ損益	△88	△18
為替換算調整勘定	2,950	606
退職給付に係る調整額	194	323
その他の包括利益合計	4,034	74
四半期包括利益	7,395	3,946
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,204	3,225
非支配株主に係る四半期包括利益	1,191	720

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、丘比（中国）有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、同社は当社の特定子会社に該当しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年12月1日至平成29年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
売上高										
外部顧客への売上高	34,297	24,020	27,525	10,980	2,311	30,972	1,971	132,079	—	132,079
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,770	1,511	73	555	99	5,847	2,812	12,670	△12,670	—
計	36,068	25,532	27,598	11,535	2,410	36,820	4,783	144,749	△12,670	132,079
セグメント利益又は損失(△)	2,588	1,026	562	△54	△13	1,280	187	5,577	—	5,577

(注)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、「タマゴ」で減損損失を222百万円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年12月1日至平成30年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
売上高										
外部顧客への売上高	35,966	24,153	30,023	10,924	2,140	32,560	1,443	137,212	—	137,212
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,331	1,127	29	563	80	7,357	2,969	13,459	△13,459	—
計	37,297	25,280	30,053	11,487	2,220	39,917	4,413	150,671	△13,459	137,212
セグメント利益又は損失（△）	2,624	1,338	620	106	△37	849	223	5,725	—	5,725

（注）セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

3. 補足情報

注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しており、合計が合わない場合があります。

2. 平成28年11月期より、国内連結対象会社の減価償却の計算方法を定率法から定額法に変更しております。

(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因

【売上高】

(単位：億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
28年11月期	調味料	340	378	718	378	1,096	345	1,441
	タマゴ	257	261	519	248	767	255	1,022
	サラダ・惣菜	260	281	541	288	829	289	1,118
	加工食品	120	136	257	125	381	131	513
	ファインケミカル	27	26	53	28	81	28	109
	物流システム	304	318	623	324	947	322	1,269
	共通	13	12	25	14	38	13	52
	合計	1,321	1,413	2,734	1,405	4,139	1,384	5,523
29年11月期 (A)	調味料	343	397	740	393	1,132	372	1,504
	タマゴ	240	259	499	248	747	258	1,005
	サラダ・惣菜	275	293	568	298	867	288	1,155
	加工食品	110	123	232	120	352	114	466
	ファインケミカル	23	28	51	27	78	28	106
	物流システム	310	332	642	335	977	335	1,312
	共通	20	20	39	17	57	12	68
	合計	1,321	1,451	2,772	1,438	4,210	1,407	5,617
30年11月期 (B)	調味料	360						1,610
	タマゴ	242						1,020
	サラダ・惣菜	300						1,205
	加工食品	109						475
	ファインケミカル	21						110
	物流システム	326						1,340
	共通	14						40
	合計	1,372						5,800
前年差 (B-A)	調味料	17						106
	タマゴ	1						15
	サラダ・惣菜	25						50
	加工食品	△ 1						9
	ファインケミカル	△ 2						4
	物流システム	16						28
	共通	△ 5						△ 28
	合計	51						183

※平成30年11月期通期は、平成30年1月11日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益】

(単位：億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
28年11月期	調味料	16	46	62	47	109	28	137
	タマゴ	15	17	32	14	46	9	55
	サラダ・惣菜	3	11	15	11	26	9	35
	加工食品	△ 2	5	3	3	6	△ 1	5
	ファインケミカル	2	4	6	3	9	1	10
	物流システム	9	12	21	14	35	14	49
	共通	0	2	3	2	4	3	8
	合 計	44	98	142	93	234	64	298
29年11月期 (A)	調味料	26	48	73	46	119	34	153
	タマゴ	10	10	20	13	33	11	44
	サラダ・惣菜	6	11	17	13	29	9	38
	加工食品	△ 1	3	3	3	6	△ 4	2
	ファインケミカル	△ 0	1	1	4	6	3	9
	物流システム	13	16	29	16	45	14	59
	共通	2	3	5	2	7	1	8
	合 計	56	92	148	96	244	69	313
30年11月期 (B)	調味料	26						153
	タマゴ	13						52
	サラダ・惣菜	6						46
	加工食品	1						4
	ファインケミカル	△ 0						9
	物流システム	8						60
	共通	2						6
	合 計	57						330
前年差 (B-A)	調味料	0						0
	タマゴ	3						8
	サラダ・惣菜	1						8
	加工食品	2						2
	ファインケミカル	△ 0						0
	物流システム	△ 4						1
	共通	0						△ 2
	合 計	1						17

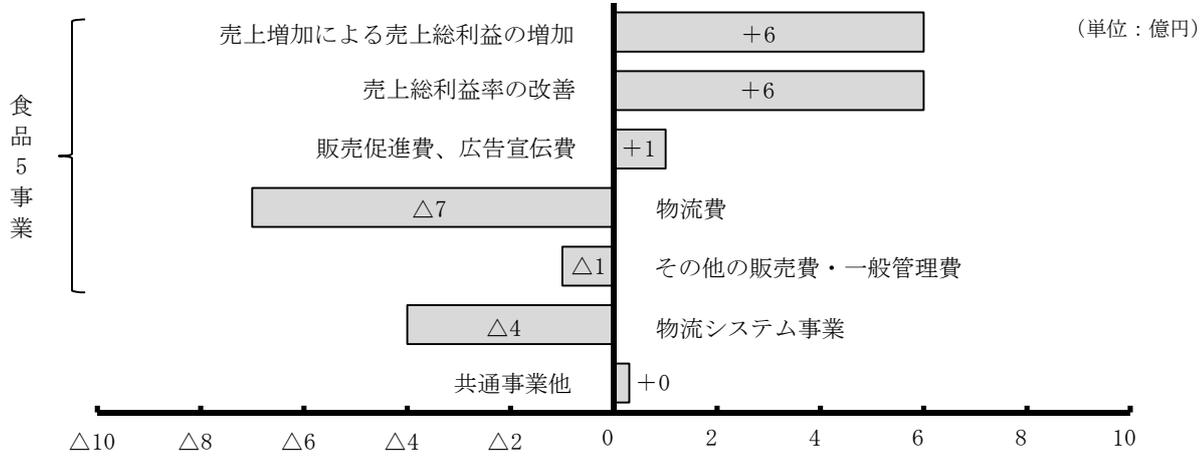
※平成30年11月期通期は、平成30年1月11日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益：増減要因(前年差)】

(単位：億円)

	29年11月期 第1四半期(A)	30年11月期 第1四半期(B)	前年差(B-A)
営業利益	56	57	1



(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費

(単位：億円)

	28年11月期 第1四半期	29年11月期 第1四半期(A)	30年11月期 第1四半期(B)	前年差(B-A)
設備投資	94	102	65	△ 37
減価償却費	65	39	44	5
販売促進費	9	10	10	0
広告宣伝費	23	27	25	△ 1
物流費	61	60	66	7
労務費	73	77	80	3
研究開発費	8	8	8	0

※平成28年11月期第1四半期の減価償却費には、固定資産の償却方法の変更による残存簿価の一括償却28億円が含まれています。

(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キューピー株式会社）

		28年11月期 第1四半期	29年11月期 第1四半期(A)	30年11月期 第1四半期(B)	前年差(B-A)
家庭用	販売量(千t)	30	30	29	△ 1
	金額(億円)	152	153	148	△ 5
業務用	販売量(千t)	25	25	26	1
	金額(億円)	96	95	97	3

(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況

【売上高】

(単位：億円)

		28年11月期 第1四半期	29年11月期 第1四半期(A)	30年11月期 第1四半期(B)	前年差(B-A)
中国		36	37	42	4
東南アジア		20	20	25	4
北米	調味料	13	14	15	1
	タマゴ	19	9	14	5
輸出・新規		7	7	16	9
合 計		95	88	112	23

※海外子会社の数値は、10月から12月を対象としております。

※前年差の合計には、為替影響+6億円が含まれております。

※「輸出・新規」には、主に日本からの輸出と欧州の各社の数値が含まれております。

【営業利益】

(単位：億円)

		28年11月期 第1四半期	29年11月期 第1四半期(A)	30年11月期 第1四半期(B)	前年差(B-A)
中国		3	3	3	△ 0
東南アジア		1	1	2	1
北米	調味料	1	1	1	0
	タマゴ	4	△ 3	△ 0	2
輸出・新規		1	1	1	△ 0
合 計		9	3	6	3

※海外子会社の数値は、10月から12月を対象としております。

※前年差の合計には、為替影響+0億円が含まれております。

※「輸出・新規」には、主に日本からの輸出と欧州の各社の数値が含まれております。

(5) 営業外・特別損益の主な増減内容

(単位：億円)

	29年11月期 第1四半期(A)	30年11月期 第1四半期(B)	増減 (B-A)	増減内容(29年11月期 第1四半期対比)
営業外損益	1	3	2	開業費の減少 + 1
特別損益	△ 7	△ 2	5	減損損失の減少 + 2 固定資産除却損の減少 + 2

(6) 貸借対照表の概要、増減内容

(単位：億円)

	29年11月期 (A)	30年11月期 第1四半期(B)	増減 (B-A)	増減内容(29年11月期対比)
(資産の部)				
流動資産	1,563	1,502	△ 61	現預金の減少 △ 23 売掛債権の減少 △ 60 たな卸資産の増加 + 12
固定資産				
有形・無形固定資産	2,031	2,039	8	取得による増加 + 41 減価償却による減少 △ 44 (株)久松運輸 連結子会社化による増加 + 7
投資その他の資産	598	584	△ 14	投資有価証券の減少 △ 20 退職給付に係る資産の増加 + 5
(負債の部)				
	1,558	1,483	△ 75	仕入債務の減少 △ 26 未払法人税等の減少 △ 15 引当金の増加 + 24 未払金の減少 △ 17 設備未払金の減少 △ 22
(純資産の部)				
	2,634	2,642	8	利益剰余金の増加 + 5 非支配株主持分の増加 + 3